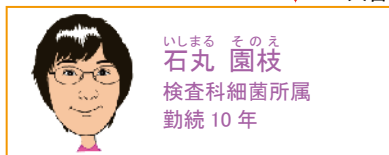




検査センター職員を順次紹介していくコーナーです。私たちは「顔の見える検査センター」を目指しています。先生方のご意見・ご感想をぜひお聞かせ下さい。

♥ 125人目



いしまる そのえ
石丸 園枝
検査科細菌所属
勤続 10年

検査技師になった自分を振り返って

出産、子育てにより十数年離職していましたが、検査センターではずっと細菌検査を担当しています。

高校時代、某受験雑誌を読んで検査技師になろうと決意しました。当初、自分の世界に没頭し、集中して臨床検査をする姿（＝研究員風）を想像していましたが、現実とは違っていました。所内の職員とのコミュニケーションはもちろんのこと、医療機関からの問合せ対応等、検体のみならず“人”を相手にする能力が求められていることを学びました。

約 2 か月ごとにローテーションが行われるため、一通り細菌検査はでき、問合せにもお答えできるものの、まだまだ学ぶことは多いです。

検査技師になって以来、“^{いのち}検体の重さ”を実感しています。これからも、「正確に」「迅速に」を心がけ、臨床検査業務に努めたいと思っています。

♦ 126人目



さとう あきまさ
佐藤 成真
総務課所属
勤続 15年

周りを見渡して気づくこと

総務課で経理を担当しています。

周りは女性職員ばかりですが、男一人で頑張っています。お金に携わる仕事なので、計算ミスがないようにとても気をつけています。

以前私は、業務課で集配業務をしていました。

今は先生方と接する機会はほとんどありませんが、その頃は直接病院へ出向き、大事な検体を預かっていましたので、病院のスタッフの方とお話することもありました。と同時に、業務課や検査科など他部署の大変さもよくわかっています。

その時の経験が今とても役に立っているように思えます。

これからもミスのないように心掛けて日々頑張っていきたいと思っています。

